

備前市事務事業評価シート

(平成20年度事業)

事業の概要		事業開始年度		平成17年度～		根拠法令・規程等	道路法・道路構造令
総合計画	大項目	基本目標	01	安全で快適に暮らせるまちづくり			
	中項目	基本施策	04	安全で安心して暮らせるまちづくり			
	小項目	施策	01	交通安全			
事務事業名		05	交通安全施設維持管理事業		問	担当課(室)	都市整備課
					答	職・氏名	土木係長 梶藤 勲
					先	電話	0869-64-1835

事業の実施		対象(誰・何に対して)	市道上の交通安全施設。
目的(何のために)		市道における腐食、破損した交通安全施設の補修を行い事故防止を図る。	
行政活動(どのような方法で)		市道上にある腐食、破損したガードレール等の防護柵、カーブミラーの補修を行う。見えにくくなった道路標示、道路標識の補修を行う。	
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)		修繕の必要な交通安全施設の不備が原因で起こる事故の防止。	

事業の実績						
活動	実施項目		単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
	維持修繕箇所(需用費)		箇所	13	16	21
	事業費		千円	1,103	1,964	2,276
	必要人員		人	0.59人	0.15人	0.04人
	事業費		千円	4,385	877	316
実績	事業費		千円	5,488	2,841	2,592
	国・県・市・その他		千円			
	支出		千円			
	負担		千円			
	収入		千円			
その他		千円				
一般財源		千円	5,488	2,841	2,592	
受益者負担比率		%				

結果指標名		単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
結果指標①	結果指標量	箇所	13	16	21
	対前年比	%	-	123.1%	131.3%
	活動コスト	円	5,488,000	2,841,000	2,592,000
	単位当たりコスト	円	422,154	177,563	123,429
結果指標②	結果指標量	-			
	対前年比	%			
	活動コスト	円			
	単位当たりコスト	円			

事業の成果						
事故件数	成果指標名	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	到達目標値
	達成率(B/A)	目標値(A)	0	0	0	0
		実績値(B)	0	0	0	到達目標年度
達成率(B/A)			100.0%	100.0%	100.0%	平成28年度
成果指標設定の考え方・式や説明						
修繕の必要な交通安全施設の不備が原因で起こる事故件数						

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		妥当性の評価		妥当性評価<A~E>		A	
市の関与の妥当性	必要性	<input checked="" type="checkbox"/>	市が実施するよう法令で義務づけられている	判定理由・課題認識			
		<input type="checkbox"/>	法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたさない				
市民ニーズ	説明	<input checked="" type="checkbox"/>	市民・団体等から要望・要請が強い	判定理由・課題認識			
		<input type="checkbox"/>	説明				
効率性の評価	コスト	<input checked="" type="checkbox"/>	単位当たりコストは前年度と比較して改善している	判定理由・課題認識			
		<input type="checkbox"/>	実施方法(派遣・委託)を見直すことでコストを下げる余地がある				
有効性の評価	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の設定は適切である	判定理由・課題認識			
		<input type="checkbox"/>	成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである				
市民参画度	参画度	<input checked="" type="checkbox"/>	現場確認の際、直営で出来る簡単なことは極力作業を完了させコストの削減を図っている	判定理由・課題認識			
		<input type="checkbox"/>	成果指標達成率は前年度と比較して向上している				
		<input checked="" type="checkbox"/>	現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない	判定理由・課題認識			
		<input type="checkbox"/>	現在の事業を継続してHPや広報等で情報提供している				
		<input checked="" type="checkbox"/>	事業についてはNPO、ボランティア団体等が参画している	判定理由・課題認識			
		<input type="checkbox"/>	事業の実施等で積極的に市民意見を反映させる仕組みがある				
		<input checked="" type="checkbox"/>	事業のプランづくりから市民参加を得る手段をとっている	判定理由・課題認識			
		<input type="checkbox"/>	事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している				

平成21年度の状況		目標値		結果指標量①		結果指標量②		成果指標量		0件	
状況	説明	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了			
			○								

総合評価		評価区分<A~E>		B	
施設は毎年増えており、施設の修繕も一挙には行えないので、毎年行っていく必要がある。NPO、ボランティア団体等の参画を考えていく必要がある。		妥当性		有効性	
		効率性			

平成22年度以降の方向性・内容		方向性		拡充		現状継続		見直し		縮小		整理統合		休止		廃止・完了	
改善がある場合	有効性	評価の視点	改善内容		改善時期		改善により期待される効果										
		修繕箇所を把握するために、現場に出た時には安全施設の確認を行い地図などに整理していく。	H21~		交通安全施設の腐食・破損箇所を早期発見できる。												